

学校教育目標

自ら学び考え  
主体的に行動する  
心豊かな生徒

目指す生徒像

胸をはり  
瞳輝く東中生

# 学校だより 瞳輝



第2号 令和3年4月30日 川越市立東中学校長 福田和子

## 「教育が一人前の社会人をつくる」家庭や地域の願いに応える 「守・破・離」の東中三カ年教育

学校朝会講話 一部抜粋 \*今回の学校朝会は、校長室から教室に配信しました\*

今、社会全体が、新型コロナウイルス感染拡大の状況の中で混沌とした部分が多くあります。大人も一つ一つのことを確認しながらようやく一步踏み出すようなところもあります。このような中でも世界中の人々が住みやすい地球にしよう

SDGs Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標の達成に向けた取組が進んでいます。最近、テレビや各種の情報ツールでもSDGs持続可能な開発目標について耳にしていると思います。



このSDGs持続可能な開発目標は、2015年9月に国連サミットで採択された、国際社会共通の目標です。17の目標と169のターゲット（具体的な目標）を世界中の国々が協力して2030年までに達成させようというものです。皆さんは、日本に住んでいる私たちの生活と世界の状況が、密接にかかわっていることを普段からどのくらい意識して生活していますか。

例えば、地球温暖化による海水温の上昇は、台風を強大化させ、「スーパー台風」を発生させます。強烈な勢力を保ったまま日本に上陸すれば、各地に被害をもたらすでしょう。川の氾濫や土砂災害は、私たちの生活を脅かします。これでは、今までのような生活ができません。

また、世界には貧困に苦しむ人々がいます。土地や資源などを巡る紛争もあります。きれいな水を得ることができずに病気になる人がいます。様々な問題から学校で教育を十分に受けられない子どもたちが、世界には大勢います。皆さんは、教育を受けているから汚れた水を飲むと病気になることを知っていますが、教育を受けられずに衛生観念が得られなかったり、貧困や様々な状況から汚れた水しか飲むことができなかつたりする人々が大勢います。

「持続可能」とは、皆さんやその子ども、孫の世代にも豊かな自然があり、きれいな水が飲め、みんなが健康に過ごせるような状態が残るようにすることです。そして、それは「遠い国の出来事」ではなく、私たちの身近な問題として考える必要があります。

2030年までの10年の間に皆さんは、社会の中で活躍する社会人となっています。そのとき、自分と周りにいる人とそのもっと周りにいる人のことを考えたり、世界に目を向けて行動したりすることが、自然にできるようになるために今、一日一日、着実に学び続けましょう。

この17の目標を達成することができるよう自分の行動の一つ一つを意識していきましょう。様々なことを学び考え、主体的に行動ができること、そして、相手を尊重し、周囲の人と協力することで、東中生として更に成長していきましょう。

さて、ここで皆さんに新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願いです。皆さんも感染の状況がたいへん深刻なことを各種報道で知っていますね。現在、感染が拡大している変異型のウイルスは、若い年代にも重症化がみられることが、特に心配です。

毎日の体調管理のため早寝・早起き、検温、マスクの着用、登校したら手洗い、手指消毒、密にならないようソーシャルディスタンスを意識した行動を確実にいきましょう。校内の換気は、先生方が確認していますが、これからの時期、天候により生徒の皆さんも換気を意識してください。帰りの会や部活動が終わって家に帰る前には、必ず、手を洗い、手指消毒をしましょう。

また、皆さん自身が体調の悪い場合、家族に風邪症状がある場合は、保護者に相談し、学校を休みましょう。これは、先生方も同じです。この行動は、皆さん自身と周りの人を守る行動です。これからも感染予防を確実にいき、自分も周りの人も大切にしていきたいと思います。